



WISE

理工学術院総合研究所
Waseda Research Institute
for Science and
Technology

早稲田地球再生塾

Waseda Earth Regeneration School

第2回勉強会

ロボットは地球を救えるか？



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2018 11.6.Tue. 13:00~17:30

早稲田大学 西早稲田キャンパス
55号館 N棟1F 大会議室

13:00-13:10 **開会の挨拶** 木野 邦器 教授
早稲田大学理工学術院総合研究所・所長

13:10-13:20 **趣旨説明** 菅野 重樹 教授
早稲田大学理工学術院創造理工学部
WERS 第2回勉強会コーディネーター

13:20-14:00 **講演Ⅰ** 浅間 一 教授
東京大学大学院工学系研究科
『災害対応のためのロボット技術とその社会実装』

14:00-14:40 **講演Ⅱ** 所 千晴 教授
早稲田大学創造理工学部環境資源工学科
『資源循環におけるロボット/Iotへの期待』

14:40-14:50 **休憩**

14:50-15:30 **講演Ⅲ** 遠藤 央 専任講師
日本大学工学部機械工学科
『ロボット技術とサステナビリティ』

15:30-16:10 **講演Ⅳ** 亀崎 允啓 研究院准教授
早稲田大学理工学術院総合研究所 主任研究員
『地球をいじるロボット』

16:10-16:20 **休憩**

16:20-17:20 **パネルディスカッション**

モデレーター 菅野 重樹
パネリスト 浅間 一
所 千晴
遠藤 央
亀崎 允啓

17:20-17:30 **閉会の挨拶** 天野 嘉春 教授

早稲田大学理工学術院総合研究所・副所長

総司会 荒 勝俊 研究院教授

早稲田大学理工学術院総合研究所・上級研究員
WERS事務局・プログラムマネージャー

お問い合わせ・お申込み: <http://www.waseda.jp/fsci/wise/>

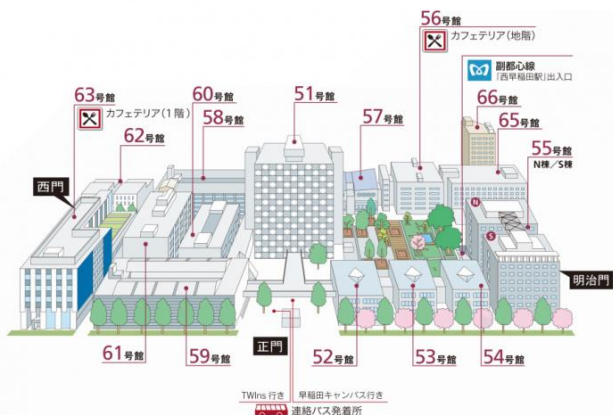
E-mail: wers@list.waseda.jp

WERSは、早稲田大学理工学術院総合研究所（理工総研）に新設した7つのクラスター研究所間の多様な連携と研究成果の効果的な社会還元の実現を支援展開するために、異分野の研究者と技術者の出会いの場を提供し、企画・立案・実施・事業化を推進する、学内外に開かれた研究会として開設した。

■ 趣 旨

人類に課せられた地球規模の様々な課題の解決と持続可能な社会の実現に向けて、環境と調和したモノづくり技術やエネルギー・資源の利用技術における革新が求められている中、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」は重要な技術開発指針となっている。日本政府が設置しているSDGs推進本部は、昨年12月にSDGsアクションプラン2018を公表した。WERS第2回勉強会は、「日本SDGsモデル」の具現化に向けた『SDGs実施指針』8分野を俯瞰し、ロボットが活躍できる領域に着目して開催する。

地震、災害、インフラ老朽化、資源探査、土木など、地球に関わる諸問題への対策方法やツールとしてロボット・AIが注目されている。しかし、現状の技術を冷静に評価すると、産業用はともかくも、特殊な環境で働くロボット・AIの研究開発は十分に進んでいるとは言えない。一方で、地球を救う方法として、ロボット・AI以外に頼れる「もの」が存在するとも思えない。そこで、本勉強会では、特殊ロボット開発の専門家、資源の専門家、地球に関わる新しいロボット研究に取り組んでいる若手研究者に講演をお願いし、ロボット・AIの地球への貢献を考えてみる。



<https://www.waseda.jp/fsci/wise/access/>

持続可能で豊かな未来社会を目指して ロボットは地球を救えるか？

